

ぎふ 商工連

2016 商工 News

【第632号】平成28年6月1日発行(毎月1日発行 発行部数22,640部)



発行所・発行人

岐阜県商工会連合会

岐阜市数田南5丁目14の53 ふれあい福寿会館9F

TEL (058) 277-1068(代) FAX (058) 274-7655

URL <http://www.gifushoko.or.jp/>

CONTENTS

- 2 県青連・県女性連通常総会リーダー講習会
- 3 持続化補助金活用レポート / 専門家の目
- 4 青年部・女性部 活動報告
- 5 元気企業紹介 / 商工会訪問記
- 6 高齢者雇用安定助成金説明会
- 7 弁護士無料窓口相談会(6月～3月)
- 8 商工会ほっとライン
商工貯蓄共済・福祉共済

▼代表の水谷香織さん(中央)と従業員一同



今月の元気企業

プライベートスクールシナプス株式会社
(大垣市赤坂商工会)

詳しくは、P.5「元気企業紹介」に紹介しています。



▲ 小規模事業者持続化補助金で作成した
パンフレット・フリーマガジン

▶ 結婚に向けた意識改革セミナー
事業部メンバー



会員企業パワーアップ支援推進スローガン

商工会は次のスローガンで、会員企業を支援します

- 経営支援比率を高めます
- 企業支援の満足度を高めます
- 支援内容の提案力を高めます
- 市町村への提言力を高めます

清流の国ぎふ

SHOKO
NEWS
GIFU

「商工会は行きます
聞きます
提案します」
[会員満足 向上運動]

元気企業紹介

学習塾から企業向け結婚総合
支援サービスへ新事業展開！

プライベートルスクーナプラス株式会社

当社は平成10年に開業した学習塾で、プライベートスクールの名の通り「個人教育」を特徴として、一人一人に寄り添った教育サービスを実施しています。

これまで通常の学習教育に加えて、生徒の人生の目標設定・人生設計についても支援することで、学ぶ意味を明確にして意欲向上を図り、人間的成長を促す教育を実施してきました。

平成26年には小規模事業者持続化補助金に申請して学習塾の売上拡大に向けたチラシの折り込みなどを実施しました。その際に経営計画を作成する中で、今後競争激化する学習塾以外の分野へ進出を図り、また自身の経



▲意識改革セミナーで作成したビジョンマップ

験や世の中の非婚者増加の流れから結婚促進に向けた支援サービスを行う社会に貢献したいという想いを固めて、新事業展開を目指しました。

そして現在、既存の学習塾事業で培った個人教育ノウハウに、個人の生き方の意識向上を図ったコーチング能力を加えることで教育スキルを高度化し、「従業員の結婚支援を求める企業や個人」に対して「結婚に向けた意識改革セミナーとアフターフォロー」を実施する

実施し、それは従業員教育にもつながるため人材教育の一環として企業に受け入れやすく提供でき、またアフターフォローでは、お相手の引き合わせ、企業間での婚活者マッチング、個人向けセミナー、保護者対応といった内容で成婚に至るまでを伴走支援することで成婚率を高めています。

事業化に至るまで様々な壁にぶつかるとは長い道のりとなりましたが、ビジネスモデルの構築や事業計画の作成、2度目の採択となった持続化補助金を用いたテストマーケティング、そして経営革新計画の承認に至るまで、自分一人ではなく商工会・

広域支援室と共に歩むことができたからこそ乗り越えることができ、実際に事業を開始することができました。

今後も商工会と協働しながら新規事業のさらなる拡大を図り、結婚支援という事業を通して社会に幸せを贈るといふ大きな夢の実現を目指していきます。

(所属 大垣市赤坂商工会)

◆プライベートスクーナプラス株式会社

代表取締役 水谷 香織

大垣市赤坂町2095

05847112792

http://seminar.synapsel988.com/



▶学習塾事業の授業の様子

▶商工会広域支援室の支援メンバーと代表

とアフターフォローを実施するといった内容で結婚支援サービスを

セミナーは婚活のハウツーではなく、結婚に向けた意識改革、行動促進の教育として

商工会訪問記②

—そこには、いつも商工会！一番身近な経営相談所—

高山西商工会

今回は、第2回経営発達支援計画で認定された高山西商工会です。坂本事務局長を取材し、認定までの取り組みや飛騨ブロック広域事務局長としての役割等についてお伺いしました。

経営発達支援計画の認定までの取り組みについて

平成17年の商工会合併の5年後に会員減少対策と旧商工会単位の3支部の経営支援の平準化を図るため「体質改善」に取り組みました。内容は、経営支援に特化することで①一般的な経営支援は親切丁寧に対応する②高度・専門的な経営支援は専門家派遣を大いに活用する、この両輪をバランスよく推進することで商工会の認知度を上げることができました。平成24年4月の飛騨ブロック広域支援室が本商工会内に設置された効果も相まって会員数を合併前までに回復することができました。併せて県・高山市に経営支援方針をご理解頂く絶好の機会と捉え、支援計画を作成しました。

伴走型小規模事業者支援推進事業について



経営計画作成セミナー

本年は、「経営計画作成事業」と「IT活用戦略・個社支援」を中心に「経営戦略の必要性とその実現」がこれからの経営に不可欠であることを浸透させる初年度と捉えています。成果と

しては、①松ノ木峠PA活用事業（東海北陸自動車道PAでの特産品販売・観光PR）②飛騨の木工房めぐり事業（小規模事業者持続化補助金採択事業者を中心に18社のショールームを訪ねて頂く事業）



松ノ木峠PA活用事業（オープニング）

伴走型支援とは

経営指導員を中心に管内全ての事業者へ支援策が行き渡るよう計画的な巡回を実施することが絶対条件と考えています。巡回においては、事業者が抱えている経営課題や今後の事業展開を共に考えていくパートナーシップの構築に取り組みます。



坂本事務局長

最後に職員数は8名ですが、男性は事務局長の私だけで、他はすべて女性職員です。女性ならではのきめ細かい対応や特性を活かした指導は、事業者の方にも好評です。また、経営指導員の仕事の内容を他の職員がよく理解しカバーし合う体制も伴走型の支援が出来る源であると自負しています。